

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～




笑顔いっぱい
～力を合わせて鯉のぼりあげ!～
(紹介は10ページ)

2016.5
No.
509

消費者から支持される農業の確立



常呂町農業協同組合の第68回通常総会が4月8日、常呂町多目的センターで組合員163人（正組合員258人中／本人111人、委任21人、書面31人）出席のもと開かれ、全議案が原案通り承認されました。

総会議案を見る組合員のみなさん

総会は定刻9時に開会宣言が行われ、その後、出席者全員でJA綱領を朗唱し始まりました。

開会にあたり小野寺俊幸組合長は、昨年を振り返り「全ての作物で良好な作物となる一年でありましたが、爆弾低気圧や台風23号による暴風被害で農作物の冠水や飼料作物の倒伏、また、農地の流亡・施設破損などの被害が発生しました。この様な状況のなか、本年度の農畜産物取扱高は前年対比106%となりました。また信用事業は組合員各位のご協力のもと年度末での貯金残高は計画比104%、共済事業の長期共済新契約は計画対比107%。購買事業は農機具の取扱いで計画を下回ったものの、購買品全体で

の供給高は、ほぼ計画並みの実績となりました。以上の主な経過から当期剰余金が計画を大きく上回る1億6千万円を計上することが出来ましたことは、組合員各位のJA事業への結集の賜物」と感謝の言葉を述べました。

また農協改革について「農業所得の向上と法改正との関連性、準組合員制度の在り方や監査の仕組みなどが検討課題となっており、地域社会や農協経営に影響が及ばないよう取り組んで参ります」と決意を示した上で「今年は第8次農業振興計画の実践初年度であり、常呂農業が今後も持続的、安定的に発展していくために、組合員各位が農業の原点に立ち返り、消費者から支持される農業の確立に向け

結集の力で築く
「魅力あふれるところ農業」を目指し
第8次農業振興計画
第8次農協経営計画
実践



議長を務めた関根隆博さん(左)と副議長を務めたJAところ青年部猪野尚人部長(右)



開会挨拶を述べる小野寺組合長



系統を代表して祝辞を述べるホクレン北見支所の今成支所長



来賓祝辞を述べる
辻北見市長



出席者全員で行われたJA網領の朗唱



祝辞を述べる来賓の
船橋議員

任し、議案審議に入りました。議案は、議案第1号の定款の一部改正を始めに、平成27年度事業報告と決算報告、理事役員の選任、さらに28年度の事業計画設定、第8次常呂町農業振興計画及び常呂町農

て取組むことが重要」と話しました。引き続き、来賓を代表し辻直孝北見市長、今成貴人ホクレン北見支所長、船橋賢二・塚本敏一両北海道議会議員より祝辞を頂いた後、議長に関根隆博さん（富丘地区）、副議長にJ.A.とこの青年部の猪野間尚人部長を選



祝辞を述べる来賓の
塚本議員

最後に小野寺組合長の閉会挨拶の後、11時42分に閉会宣言し全ての日程を終了しました。

協経営計画の設定など10議案が提出されました。質疑では、病害虫の発生地域などの情報の公表について問われ、小野寺組合長は「病害虫に関する情報開示については国の指示により進めている。安全対策を怠ることなく情報の開示について今後も対策会議に意見していきたい」と理解を求め、提出された全ての議案が原案通り決定されました。

監査報告を行う
今橋代表監事



TPP等交渉から北海道を守り抜く決議案を読み上げる川上副組合長



質疑を行う小野寺さん
（福山地区）

病害虫について質疑を行う米山さん（岐阜地区）



オブザーバーとして出席したJAとこころ女性部のみなさん



議案第1号は挙手によって可決となりました

高品質・高収量を目指し

常呂町南瓜生産組合（高橋光明組合長）は4月1日、JA会議室で第3回通常総会を組合員12人出席のもと開きました。

開会に先立ち、高橋組合長が平成27年産の状況を含めた挨拶を行い、続いて来賓で出席して頂きました当JA猪野間信夫理事に祝辞を頂きました。

その後、高橋組合長が議長を兼務し、議事進行が行われ、提出された議案は満場一致で原案通り可決決定されました。

した。

平成28年度に向けて「多収に向けた品種試験などの実施」や「省力化に向けた試験」などがあげられ、今後より一層の南瓜の高品質安定生産に向けた事業計画となりました。

本年は役員改選期にあたり、次の役員が選出されました。

- 組合長 高橋 光明
- 副組合長 植松 正仁
- 副組合長 土田 竜也

※敬称略



役員改選により再選された高橋組合長

常呂町農民同盟

各組織との連携を

より強固なものに

常呂町農民同盟（梅田俊則委員長）は4月5日、JA会議室で第68回通常総会を開き、盟友17人が出席しました。

開会にあたり、梅田委員長は「昨年度は、改正農協法の設立やTPP交渉の大筋合意など、極めて大きな情勢変化があった一年だった。今後は、食と農の未来を切り拓くため、道農連及び地区連盟と連携し、TPP交渉大筋合意撤回、批准断固反対の取り組みなどに全力を挙げていきたい」と挨拶を述べました。

引き続き、来賓の当JAの小野寺俊幸組合長、北見市常呂総合支所の辻孝宗自治区

長、北見地区農民連盟の佐藤正光委員長の3人の方々から祝辞を頂き、小野寺組合長は「地域農業を守り、地域に暮らす人々の食と生活を守るため、農連と共にこれからの活動を展開して頂きたい」と激励の言葉を述べました。

また来賓として北見地区農民連盟の山野涼事務局次長も同席しました。

総会は、議長に遠藤一也さん（福山地区）を選出し、平成27年度の運動経過報告と収支決算報告、平成28年度の運動方針及び収支予算案が審議された後、全議案とも原案通り承認されました。

また、本年は役員改選期にあたり白石建蔵選考委員長より選考委員会の結果が報告さ



新役員に選任された植松監事、石田監事（上段左から）中島副委員長、梅田委員長、伊藤書記長（下段左から）

れ、新役員が次の通り選任されました。

- 委員長 梅田俊則（留）
- 副委員長 中島 稔（留）
- 書記長 伊藤憲男（留）
- 監事 石田雄三（新）
- 植松正仁（新）

※敬称略

積極的な受講を讃えて

みのりセミナー閉校式

J Aとこころ（小野寺俊幸組合長）が行っている、女性農業者を対象にした「みのりセミナー」の第14回講習会を「フアーマーズハウスつるる」で行い、14人が参加しました。

講習会では、常呂産農産物などを活用した調理実習を行い、網走農業改良普及センターの木村恵主査を講師に招き、「ボルシチ」「和風杏仁豆腐」「ケークサレ」「ヘルシータワースラダ」の4品を、参加者全員で協力して調理しました。その後、昼食会を行い完成した料理を美味しく頂きました。



みんなで協力して作りました!

昼食会の後、網走農業改良普及センターの尾本武次長を来賓に迎え、第2期みのりセミナーの閉校式を行いました。

開会にあたり、当J Aの小野寺組合長は「みのりセミナーで学んだ知識を営農に活かし、家族



閉校式を終えて、全員で記念写真を撮りました

のサポートをして頂きたい」と挨拶。次に、尾本次長より「若い農村女性のパワーを今後も活かし、常呂の農業にご尽力願いたい」と祝辞が述べられました。

その後、修了証書授与を行い、参加者全員で記念撮影をし、閉校しました。

今年度も、第3期みのりセミナーを開校致しますので、大勢の方の参加をお待ちしております。

活気あふれるクラブを目指し

—新規就農者激励会—

常呂町4 Hクラブ（佐野彰洋会長）は4月12日、第39回新規就農者激励会をJ A会議室で開き、新規就農者6人とクラブ員14人、農業研修生2人、さらに来賓の当J Aの小野寺俊幸組合長、常呂総合支所の辻孝宗自治区長、網走農業改良普及センターの阿部秀幸所長、関係者6人が出席しました。

研修会は、4 Hクラブ綱領朗唱

後、来賓の小野寺組合長から「4 Hクラブは農業の基礎を学ぶ団体。これからもっと新しいことにチャレンジしていきましょう」との挨拶がありました。

その後、懇親会を行いクラブ員や関係者の自己紹介後、「手押し相撲」のレクリエーションが行われ交流を深めました。

激励会終了後、環境美化運動の1環として栄浦地区でクラブ員全員でゴミ拾いを行いました。

【4 Hクラブ新規加入者】

- ・田房 壮太（和彦） 東浜
 - ・白石 裕（建藏） 東浜
 - ・梅田 和俊（俊則） 岐阜
 - ・林 俊文（健志） 岐阜
 - ・岡崎 駿一（株岡崎ファーム） 共立
 - ・沼崎 栄樹（旬ひかり） 日吉
- （敬称略、（ ）内はJ A組合員氏名）



レクリエーションを行い、交流を深めました

第39回 新規就農者激励会



新規就農した田房さん、白石さん、岡崎さん、沼崎さん、林さん、梅田さん(左から)

女性農業研修生紹介



3月から「ファーマーズハウス うえる」に入居している農業研修生をご紹介します。

いぬ つか
犬塚 恵美さん (28)
出身地：愛知県西尾市
趣味：岩盤浴

● 農業研修に応募したきっかけは？

広大な自然のある憧れの北海道で農業がしてみたいと思い応募しました。

● 常呂町の印象は？

どこまでも続くオホーツク海があったり、ドライブをしているとキツネや白鳥に出会ったり、地元では見ることが出来ない光景ばかりで、日々衝撃を受けています。

● 農作業をしてみても感想(魅力)は？

ビニールハウスの中のビートの新芽がきれいで清々しい気持ちになりました。農作業をした後のご飯はとても美味しいです。

これから畑に作物が植えられ、日々育っていく様子を見るのが楽しみです。

● これからの意気込み

農業は未経験でわからないことばかりですが、よろしくお願ひします。

※各地域の研修先でお会いの際は、温かい声を掛けて下さいます様お願ひ致します。

それぞれの家族にあつた協定締結

II 家族経営協定調印式 II

J A会議室で3月29日、家族経営協定調印式が行われ3戸のご家族が協定を結びました。

「家族経営協定」とは、家族で取り組む農業経営について、全員が意欲を持って経営に参画できるよう、経営方針や1人1人の役割分担、労働時間、報酬、休日などについて家族みんなで話し合い、書面に残すものです。家族間のルールを明確にすることにより、作業効率を上げることや、仕事以外の時間を有意義に過ごせるようになる、また家族経営協定を締結することにより、農業者年金の政策支援(国庫補助)が受けられます。



● 立会人の確認のもと、調印式が執り行われました

オホーツク優良農村青年受賞

オホーツク総合振興局が管内の農業青年を対象に毎年表彰を行っている「優良農村青年」に本町から岐阜地区の寺町太智さんが今年度受賞され、4月7日にオホーツク農業委員会連合会会長から表彰盾が贈呈されました。

ループ活動に対して指導力のある農業青年を表彰しているものです。今後とも地域のリーダーとして、更なる活躍を期待致します。

オホーツク総合振興局では、管内の農業青年を対象に過去3年以上農業の担い手として従事し、農業技術の普及・推進・グ



● 表彰された寺町太智さん

一年間で得た知識を糧に 常呂町農業に貢献



生産部販売課
石井慎一郎

私は、平成27年4月に入組させていただき、1年間滋賀県のタキイ研究農場付属園芸専門学校で研修して参りました。そして今年の春にJAとこころに復職することになりました。

タキイ研究農場付属園芸専門学校は、各地から生徒が集まり、寮生活で仲間と全ての時間を共に過ごして参りました。

実習面では、色んな作物を栽培しており、幅広い視野から作物を学ぶことができ、様々な方向から作物を

考える力が身につきました。夏場は40度近くなったりすることもあり、辛い時や苦しい時も仲間と

協力して乗り越えられたと思いますし、それと同時に仲間の大切さを実感することができました。

北海道とは全く違う気候や条件の中、栽培上注意する点や作物の細かい変化、病気の発病経過など、とても勉強になることが多く、様々な地域の農業に興味を持つこともできました。

講義では、土壌病理学・花卉園芸学・果樹園芸学・作物育種学など普段実習では気付くことのできない細かい部分まで教えていただ

きました。正直、難しくすぐに理解できない部分もありましたが、仲間と教え合い、さらに高め合いながら理解していくことができました。

寮生活では、とにかく規則がとても厳しく自治寮ということもあり、1人1人が自分に厳しく生活しなければならぬので全員が一丸となり力を合わせて、楽しむ時は楽しみ、やる時はしっかりとやる、メリハリのあふれた生活を送ることができました。また部屋

チェックが抜き打ちであり、細かい所までチェックされ、悪い所があると全員に何処が悪いのかを周知されるということもあり、毎日朝早く起きて掃除を行うという生活リズムができた。除の習慣を身に付ける事ができました。

この1年間で1番感じたことは、私自身が人として強くなり成長できたことです。ここでは、実習・勉強・寮生活の3本柱が主になっています。たくさんの方と接する機会が多くの人と接する機会があり、その中で様々な角度からの考え方や意見を知る事だったり意見することで成長できたことも多くありました。

今回この様な経験をさせていただき本当にありがとうございました。ありがとうございました。

今後につきましては、タキイ研究農場付属園芸専門学校で経験したことを忘れず、学んだ知識を最大限に生かし、JA職員として常呂町の農業に貢献できるように精一杯頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。



● 実習の説明を受ける実習生のみなさん



● 同じ班のメンバーとの思い出の1枚 (右から2番目が石井職員)

融雪後の管理作業について説明

JAところ（小野寺俊幸組合長）は、本年度第1回目の移動農事相談を3月23日、24日の2日間、各地区8会場で行いました。

今回の移動農事相談では、本年の積雪凍結状況を説明し、小麦の融雪後の追肥方法、育苗管理の注意点、5月下旬までの管理作業について網走農業改良普及センター・JAよりの説明を行いました。



●豊川地区



●共立地区

また、農作業事故が起きる要因から、事故防止に向け、機械の改良、作業環境の改善、安全な行動を行うよう呼びかけました。

今回の移動農事相談は各地区全体で112戸の参加で75%の参加率となりました。5月下旬に第2回を予定しておりますので夫婦・親子同伴にての参加をお願い致します。

酪農ヘルパーに関するお知らせ

デイリードリームトコロ、留辺薬酪農ヘルパー利用組合、北見酪農ヘルパー利用組合の合併に伴い酪農ヘルパーの千葉義幸氏と内田裕二氏が北見酪農ヘルパー利用組合の職員となりましたのでお知らせ致します。

新採用職員紹介

～皆さん宜しくお祈りします～

- ①出身地 ②最終出身校 ③趣味・特技 ④今後の抱負 ⑤自己PR



なかしま みく
中島 未来

平成10年2月生まれ（18歳）

- ①北見市
②北見商業高等学校
③バドミントン
④まだまだわからないことが多いですが、1日でも早く仕事を覚え、皆さまのお役に立てる様に頑張ります。

⑤健康には自信があるので、毎日休まず一生懸命頑張ります。大きな声での挨拶を心がけます。これから宜しくお祈りします。

ちびと発信

「野球部勝利に向けて」

JAマン
コーナー

発信No.29

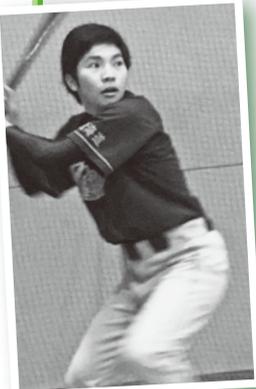
営農推進室 高田 悠作

私が最近ハマっている事は「野球」です。野球は農協職員全20人（マネージャー含め）で1チームとして活動しています。

私が去年農協に復職した際に農協野球部に勧誘されたのが、野球を始めたきっかけです。勧誘された時は野球未経験だったので、バッティングも空振りばかりでキャッチボールもまともに出来ませんでした。しかし、野球部員全員で一つの目的に向けて毎週練習する事に達成感を感じています。

昨年度は惜しくも試合に勝つことは出来ませんでした。今年度は優勝に向けて野球部一丸となって練習に励んでいます。優勝に向けて気合を入れるためにグループを新調し、毎週の練習で徐々に手に馴染んでいくことに喜びを感じ、毎回の練習が楽しみになっていきます。

今年度の野球の試合は6月に行われます。それまでにしっかりと身体を鍛えて、今年度こそ優勝を目指して頑張りますので、応援の程宜しくお願い致します。



ユニフォームを身に付け、練習に励む高田職員

行事予定表

5月1日(金)~5月31日(日)

5月 3日(火) 憲法記念日

5月 4日(水) みどりの日

5月 5日(木) こどもの日

5月 7日(土) 閉組日

5月13日(金) 園芸市

5月14日(土) 閉組日

5月21日(土) 閉組日

5月23日(月) 職員研修旅行
第一班~27日

5月28日(金) 閉組日

5月29日(土) 農休日

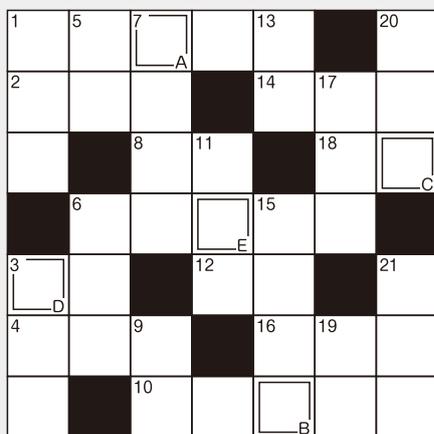
5月30日(土) 第4回定例理事会

第2回理事会報告

1. 道常例検査指摘事項に対する改善状況などの報告について
原案の通り報告することで承認されました。
2. 第68回通常総会の招集について
原案の通り招集することで承認されました。
3. 第1回地区別懇談会の開催結果について
懇談会に出された意見・要望事項について審議されました。
4. 個人情報関連規程類並びに労働保険事務組合事務処理規程の一部改正について
原案の通り一部改正することで決定されました。
5. 労働保険事務組合手数料の設定について
原案の通り設定することで承認されました。
6. 貸付金利率の改正について
原案の通り改正することで承認されました。
7. 特定組合員担当理事の認定について
原案の通り認定することで承認されました。

〈報告事項〉

1. 平成27年度決算監査報告について
2. 自己査定結果報告について
3. 職員研修旅行の実施について
4. 職員の採用・退職などについて
5. 組合員資格の変更について
6. 農業業委員会開催報告



Crossword Puzzle

~クロスワード・パズル~

二重マスの文字をA~Eの順に並べ替えて出来る言葉は何でしょうか?

タテのカギ

- ①アサガオの芽が出て〇〇〇が開いた
- ③牛や豚、羊、ヤギなど
- ⑤液体が気体になること
- ⑥名画『叫び』を描いた画家
- ⑦枝に似た形の虫
- ⑨五七五七七などの形式で作られます
- ⑪〇〇〇を尽くして天命を待つ
- ⑬力士が土俵にまくもの
- ⑮腕や手首に機器を付けて測ります
- ⑰鳥を使う伝統的な漁法
- ⑲生き腐れするといわれるほど傷みやすい魚
- ⑳花が開く一歩手前の状態
- ㉑千葉県にある〇〇〇国際空港

ヨコのカギ

- ①こいのぼりと一緒に泳ぎます
- ②〇〇〇漬けは福岡県、熊本県の名産品
- ③アルミ、スチールに分けてリサイクル
- ④魚のすり身を棒に巻き付けて焼きます
- ⑥デリカシーがありません
- ⑧白や紫の花が房になって下がります
- ⑩アヤメに似た花が咲きます
- ⑫名を捨てて〇〇を取る
- ⑭懸賞の〇〇〇はがきを書いた
- ⑯潮干狩りで採れる貝の代表格
- ⑰くしやブラシでとかすもの

先月の当選者・解答

4月号のまちがい探しの答えは、「1、3、5、6、12」でした。
抽選の結果、次の方々が当選しました。
おめでとうございます。
近藤 風香さん(豊川)
川崎 由一さん(土佐)

※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、JAとこころの特産品「つぶあん」と「お赤飯の素」をセットでプレゼントします。

読者の声

★今年の仕事も始まりましたね
無事故で豊穡の秋を迎えられますように
(土佐地区・川崎 由一さん)

★クロスワードパズルや間違い探しがあって
いつもそれが楽しみです。
(豊川地区・近藤 風香さん)

自己研鑽に努め、地域に貢献したいです。



その後、辻自治区長、当JAの小野寺俊幸組合長より認定を受けた2人へ、農業士として今後の活躍を期待する言葉が贈られました。

これを受け称号贈呈式が2月18日に札幌市で開かれ、清井さんが出席。北海道農政部長より認定証が贈呈されました。また、式に出席できなかった山内さんは、3月28日に北見市常呂総合支所で行われた贈呈式に清井さんと出席し、辻孝宗自治区長より認定証が授与されました。

関係機関の推薦を受け、北海道知事より認定を受けました。



女性目線から地域農業の活性化に繋がるよう努め、楽しく交流を深めていきたいです。

地域のリーダーとして 活躍を期待

農業士に2人認定

農村振興に取り組む女性農業者をたたえる北海道の平成27年度の女性・高齢者チャレンジ活動表彰で、「ところよめさんネットワーク・さくらちゃん」が最優秀賞を受賞し、3月25日にオホーツク総合振興局で賞状伝達式が開かれました。寺田敬子代表を始め8人が出席し、森田良二局長から賞状が授与されました。

今回受賞の経緯は、さくらちゃんが、1995年の結成以降、「食と農、地域の暮らし」をテーマにメンバーがアイデアを出し合い農業の基礎を学ぶ学習活動から、直売・地元農水産物を使った食堂の運営やレシピ本の作成などグループ活動が多彩で、農家のお嫁さんたちが活き活きと農村生活を楽しみ、農業や農村の魅力の発信を長期間、継続して行っていることが高く評価され今回の受賞となりました。



長期に及ぶ農業・農村の 魅力発信が評価され 最優秀賞受賞!!

編集後記

- 組合員各位におかれましては、春の蒔き付け作業が始まり大変お忙しい毎日のことと存じます。機械を動かす際は、くれぐれも農作業事故に気を付けていただき、豊穡の秋が迎えられることをご祈念いたします。
- 4月の人事異動に伴い広報担当が2人から3人に増え新体制となりました。今後、より一層「光と風の大地」が皆さまに親しんでいただけるよう誌面を作りますので宜しくお願い致します。

《営農企画課：広報担当》

今月の表紙：笑顔いっぱい

～力を合わせて鯉のぼりあげ!～

「笑顔がいっぱい」第2号は、「こどもの日」をテーマに、清尾好惺くんとおじいちゃんの雅人さんにご登場いただきました。

清尾さんのところでは、毎年大きな鯉のぼりをあげていて、今年小学生になった好惺くんと二人で協力し仲良く鯉のぼりをあげている様子が印象的でした。青空を泳ぐ鯉のぼりのように、健やかに成長されることをご祈念致します。